

従業員の健康増進をバックアップ

アクトサ生命は2019年2月から、従業員の健康増進を経営的な視点で捉え戦略的に実践する「健康経営」に取り組むための法人向けサービス「健康経営サポートパッケージ」を提供している。同パッケージは、同社の「健康経営アドバイザー（注）」が健康経営をサポートする法人に対し、「健康習慣アンケート」「健康経営実践プログラム」「健康経営実践支援」「健康経営優良法人認定支援」のサービスを提供するもの。同社所定の法人契約の保険契約者で、健康習慣アンケートを申し込んだ法人には「24時間電話健康相談」「メンタルサポート」「食事・栄養管理支援」「睡眠チェック」「運動機会増進アプリ」「アクトサ健康スクーム」のサービスを追加で利用できる。同サービスは開始から21年末までに約5500社、約10万人の従業員に提供された。コロナ禍における「健康経営」は、各企業の重要な課題と捉えられており、現在も同社には多くの問い合わせが寄せられている。

エック結果のみならず、職種・部署単位での集団分析を活用することで、職場環境の改善に生かすこと也可能だ。

「産業医選任（訪問サービス）」は、50人以上の事業場に義務付けられている。基本プランとし

て隔月1回（1時間）実施する。オフショヨンで訪問時間の延長、訪問日の追加が可能。産業医の選任が義務付けられていない50人未満の事業場には、必要な時に従業員がオンラインで産業医と面談できる機能を提供する。活用例として、ベー

チエック実施後、高ストレスに該当する従業員に対するオンラインによる対応

る産業医面談を行うことにより、職場におけるメンタルヘルス対策の強化を後押しする。

この部分は著作権の関係で  
ご提供できません。

合は、11カ国平均の37%に對して日本は20%と、職場のサポートが進んでいるとは言えない状況であることが分かつている。当社が行つてある中企業向けのアンケート

### マーケティング部門サービス事業本部サービス事業開発部サービス事業企画課の三井健太郎課長

は「昨今では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因して、日本だけでなく世界的にも『コロナうつ』と呼ばれるメンタル不調者が増加傾向にある。アクサが世界11カ国で行つた『心の健康』に関する意識調査では、「職場で心の健康に関するサポートを受けている」と認識している人はそうでない人より心の健康状態が良好であることが分かつっている。また、「職場で心の健康に関するサポートを受けている」と回答した人の割

合は、11カ国平均の37%に對して日本は20%と、職場のサポートが進んでいるとは言えない状況であることが分かつている。当社が行つてある中企業向けのアンケートでも、約4社に1社がコロナ禍で従業員のメンタルヘルス不調や環境変化による影響が見られて、といった結果が出ている。企業にとって従業員のメンタルヘルス対策は、非常に重要なものとなつてはいる一方、デジタルを活用し、自分自身で健康増進を管理する方も増えている。「産業医アドバイザー」を広めていくことで、当社が従業員のメンタルヘルス対策を後押ししていることをアピールしていきたい」と語る。

「運動機会増進アプリ」は、スマートフォンアプリ上で分かりやすいエクササイズ動画を見ながら身体を動かすことによって、健康づくりを進めながら身体を動かすことによって、健康づくりを進めてもらうサービス。職場だけでなく家庭でも利用することができる。アプリ内にアクサ生命専用の環境を設定し職種別・職場シート別・悩み別にカテゴライズされた動画を用意し、健康経営を推進する職場で活用しやすいコンテンツだ。

一方、「アクサ健康スクラム」はコミュニケーション活性化と健康習慣の定着化を目的としたサービスで、スマートフォンアプリ上で部署ごとに5人1組のチームを組み、参加者同士で励まし合いながら健康づくりの習慣化を目指すもの。アプリ内にアクサ生命専用環境を設定し、「歩数・運動チャレンジ」「食事・栄養管理チャレンジ」「睡眠チャレンジ」の三

課の水上誠課長は「コロナ禍もあり、従業員同士がなかなか顔を合わせない中で、提供している健康増進サービスの中でも運動習慣の定着化を促すコンテンツ、およびコミュニケーションは、非常に重要なものとなつてはいる一方、デジタルを活用し、自分自身で健康増進を管理する方も増えている。「産業医アドバイザー」を広めていくことで、当社が従業員のメンタルヘルス対策を後押ししていることをアピールしていきたい」と語る。

同部サービス事業推進リリースは、スマートフォンアプリ上で分かりやすいエクササイズ動画を見ながら身体を動かすことによって、健康づくりを進めてもらうサービス。職場だけではなく家庭でも利用することができる。アプリ内にアクサ生命専用の環境を設定し職種別・職場シート別・悩み別にカテゴライズされた動画を用意し、健康経営を推進する職場で活用しやすいコンテンツだ。

一方、「アクサ健康スクラム」はコミュニケーション活性化と健康習慣の定着化を目的としたサービスで、スマートフォンアプリ上で部署ごとに5人1組のチームを組み、参加者同士で励まし合いながら健康づくりの習慣化を目指すもの。アプリ内にアクサ生命専用環境を設定し、「歩数・運動チャレンジ」「食事・栄養管理チャレンジ」「睡眠チャレンジ」の三

（注）中小企業の健康経営を普及・啓発する目的で、経産省が東京商工会議所に委託して創設した研修プログラムを修了し、考課測定で一定基準に達し認定された人材。

つのメニューを用意している。「健康経営サポートパッケージ」のその他（食事・栄養管理支援、睡眠チェック、運動機会も増進アドバイザー）と連携して実際に健康づくりの習慣化を進めしていくことができる。利用企業の従業員による「アクサ健康スクラム」の取り組み状況を経営者が把握するためのレポートも提供する。

同社は15年から企業経営者向けの健康経営セミナーを開催し、企業に対する健康経営の普及啓発と実践支援を進めてきた。地域のステークホルダーとのパートナーシップにも力を入れ、22年4月現在、全国の商工会議所との健康経営の普及促進等に関する連携協定数は466にのぼる。さらに、健康経営の普及促進に、健康経営の普及促進に向けた覚書締結は55に、全国健康保険協会支部との健康経営の普及促進に向けた覚書締結は44県に広がっており、企業における健康づくりの実践と職域の従業員とその家族の健康づくりの支援を自治体や保険者と連携して進めている。